



ねこの手通信

2009年11月 第2号

発行：株式会社 ケイネット

ごあいさつ

いつもお世話になっております。ケイネット、小林です。「ねこの手通信」第2号を担当するにあたり、まず初めにお詫言いたします。「便は字がへたです!」。ですが、心を込めて書きます。どうか、最後までお付き合いください。

さて、創刊号でもお伝えしましたが、僕の仕事は原稿の制作をすることです。1日中社内で「わちゃわちゃ」パソコンでデザインを起しています。社外に出ることはほとんど無いので、皆様とお会いする機会はほとんどありませんでした。顔も知らない方とお仕事をしていることに、何か、通販と似ていませんか?

今回は、制作者の目線で広告についてお伝えしたいと思います。

手書きのチカラ!

先日、思い切りのいい原稿を見つけました。キレイに整列した新聞紙面の中で、この「豪快な手書き」は、目立ちました。しかも、「ちき」。

手書き文字は、ただ「いっ!」と目に入るだけでなく、温かみ、親近感を感じませんか? もちろん「ねこの手通信」もそのひとつ。広告だけでなく、インナー向けのツールでもそのチカラを発揮するのは、?



ねこの手コラム② 原稿制作は「整理整頓」!!

いきなりですが、皆様のデスクの上はどうでしょうか? 片付いていますか? 片付けというのは、実は、非常に高度な脳の働きを要する作業で、整理整頓をしているときの頭の中は、

散らかったものを
見て脳の中で識別
分類する

分類されたものを
どこに戻すかを
判断する

戻す場所がないものは
その形態に合わせて
新たに収納場所を作る

ものの形、使う頻度
などに合わせてものの
配置を決める

ということを考えています。しかもそれはオフィスや家庭など、全く違った状況下で行われるので、とても応用力が必要なんです。実は、原稿を作る時も同じで、「新規獲得の広告で伝えること」「インナーのお客様に知ってもらいたいこと」など、まず情報を整理整頓します。

クライアント様ごとに希望や商材が違うので、いつも四苦八苦しています。営業部や企画部の仲間たちと「あーお! ニーお!」言いながらの原稿制作は大変ですが、楽しく行っています。

(注) デスクが片付いていない＝判断力・応用力が低いということではありません。整理整頓能力があっても、片付けをしない人もいます(多数)。All About 参考